

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	ヴォーカルⅡ	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	40時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	毎回楽譜・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	加藤修子・笹倉舞		実務経験の有無・職種	有・声楽家 音楽家 女優	
学習目的					
<p>「声にはその人そのものが表れる」人に何かを伝えられる声、喜びや悲しさを共感できる声、事実のみを的確に淡々と伝えられる声、魂まで揺さぶられる声など・・・本当の意味での人を動かすプロフェッショナルな声作りには実は豊かな人格形成が欠かせない。個人のスキルを上げるために真剣に練習すること、コーラスで美しいハーモニーを作ること、力を合わせて発表するための曲を完成させることを通して幅広い人間力を高めていくことがヴォーカルⅡの学習目的である。</p>					
到達目標					
<p>ヴォーカルⅡでは確実に声が成長し音域が変化してきたところで成果発表を経験する。そして、発表後の授業で、ひとりひとりが良かった点、悪かった点、練習と本番での相違点を振り返り理解し、自分の歌声を更に伸ばしていくにはどうしたらいいかを考え、工夫していくこと、声だけでなく歌の表現力を高めていくこと、どんなジャンルにも通用する柔らかい歌声を身に付ける。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>クラス発表のステージ公演に向けてそれぞれの役割分担を活かしながら皆で力を合わせて完成させていくことに取り組んでいく。その過程で協調性、社会性が自然に培われるように授業を進めていく。また、「個人への指導は他学生への指導である」ことを理解し、個々がどの様に変化するのかを聴いて学生同士の学び合いを行う。</p>				
注意点	<p>困難や疲労が溜り物事が円滑に進まないときでも他人のせいにはせず、自分のやるべきことに全力を尽くすことだけしかないことを全員で学び合えるようにする。加えて、声と身体の健康に留意する。予習、復習の怠慢への指導・授業態度のマナー指導を重要視し、学生自身が今後社会で自立する事を意識した授業への取り組む姿勢を要求する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受けることはできない。</p>				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	60%	声・音程・リズム・歌の表現力を総合的に評価する。		
	平常点	10%	理解度、授業に取り組む姿勢、成長度を評価する。		
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業内の発表について評価する。		
授業計画（1回～10回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	課題曲の仕上げ（1）	曲の最後まで振付やコーラスを完成させる			
2回	課題曲の仕上げ（2）	実際のステージにてリハーサルをするためにやるべきことを理解する			
3回	場当たり	実際のステージにて体感する			
4回	課題曲の仕上げ（3）	最終的な修正をして課題曲を仕上げる			
5回	成果発表	観客を意識した歌の発表を体感する			
6回	発表を振り返る	発表において今後の課題を見つける			
7回	歌唱力の強化（1）	個人の発声、歌唱力の強化をする			
8回	歌唱力の強化（2）	全身開放した呼吸と発声と地声とミックスを理解する			
9回	歌唱力の強化（3）	総合的に復習をする			
10回	歌の発表	オーディションを意識した歌唱を理解する			